

イノベーションに資する技術情報の活用方策 —先使用、ライセンス、消尽の視点を中心に—

〔目次〕

●ご挨拶	日本弁理士会中央知的財産研究所所長 中村 仁	i
●序 文	主任研究員 高林 龍	iii
●研究部会研究員		v

・判例からみた先使用权		
—主張立証責任を中心に—	高部真規子	1
・特許法の先使用权の将来像		
—予測可能性のある制度に向けて—	田村 善之	21
・先使用权の緩やかな認定？		
—特許権の緩慢な死？	井関 涼子	29
・先使用权制度の検討		
—解釈論と立法論の双方に焦点を当てて—	横山 久芳	47
・イノベーションに資する技術情報の活用方策と先使用		
—オープン・クローズ戦略にも役立つ先使用—	吉田 和彦	63
・先使用权についての考察		
—事業の保護の観点から—	加藤志麻子	79
・先使用权制度の現状とその課題		
—「その発明をし」の要件を中心に—	梶並彰一郎	93
・DX 時代の消尽理論		
—消尽回避使用权ライセンス契約の政策整合性—	竹中 俊子	105
・SEP と特許権の消尽	佐藤英二郎	123
・英国における消尽	山田くみ子	137
・ライセンスに適した特許実務と法律の考察		
—ディープテック領域におけるイノベーション保護を中心に—	森田 裕	151